

テーマ

素直な心をもった都祁の子を育てよう！

目標

素直な心をもった都祁中学校区の児童・生徒の育成を目指し、目標に向けてなかと協力して頑張る、相手を思いやる、がまんする、関心をもつ、感動する、感謝する子どもに育てていく。

今年度の取組紹介

素直な心をもった都祁中学校区の児童生徒の育成を目指して、今年度も数々の取組を行いました。

○「特別見守り活動」（年2回）と日々の見守り活動

残念ながら児童が被害者になる事件が連続して起こってしまっている中、日々の登下校の見守り活動や年2回の都祁地域全体で取り組む特別見守り活動は、児童生徒に登下校の場面だけに限らず、「地域の皆さんに守られている」という安心感を与える活動となっています。



○「体力向上」の取組

地域の方々の支援をいただきながら体力向上にも取り組みました。

夏休みには各小学校で「水泳教室」を開催し、地域の方や水泳講師に指導していただきました。気温が低く、泳げる日が少ない都祁地域の子ども達ですが、この取組により水泳が苦手な児童もしっかり泳げるようになりました。その自信が、他の活動への意欲向上にもつながっているようです。また、小学生の陸上大会に備え、中学生の陸上部員が指導する機会も設けました。技能の向上だけでなく、地域的な縦のつながりも強めることができました。



今年度のまとめ

今年度実施したいずれの事業も、コーディネーターを中心に多くのボランティアの皆さんにご協力いただき、それぞれの目的を達成することができました。都祁地域の児童生徒は、様々な活動に地域の方々がいつも目を掛け、気を配っていただいていることを実感し、地域のすばらしさを知り、地域の一員としての自覚も高まってきました。

来年度に向けて

地域教育協議会の活動及び5つの運営委員会の活動は、年々充実したものになってきています。

しかし、それぞれの学校や運営委員会単位での活動が中心となってしまう、校区としての有機的なつながりが弱いという課題はなかなか解消できていません。来年度から本格実施される小中一貫教育の中での取組とも連携しながら、縦（小中）と横（小小）や都祁地区全体として取り組める事業を進めていきます。

テーマ

ガンバレ！ 都祁中 Family！

目標

地域の方々との交流を図りながら、地域を愛する心を育てるとともに、諸活動を通して豊かな心とたくましい体力の向上を図り、意欲的に活動する中で生きていく力を培い、感謝する気持ちを大切にできる生徒を育成する。

今年度の取組紹介

今年度、コーディネーターさんや地域の方々の多大なる支援を得て、3日間の職場体験学習を実施することができました。本校にとっては、約10年ぶりの復活ということになります。10年も経つと1から始めるのも同じです。受け入れていただく事業所の皆さんも不安な部分もありだったようですが、地域の子どものためにと快く引き受け、全面的に協力していただきました。全ての体験場所を都祁地区内で確保していただき、仕事や将来についてしっかり考える事ができたと共に、自分達が住んでいる地域を愛し、誇りをもって生活することにつながったと思います。

昨年度に引き続き実施した地域交流会「趣味に学ぼう」は、都祁地区の公民館などで和楽器の演奏や手話・要約筆記に取り組んでおられる方など、13講座30名を超える講師の皆さんに指導していただきました。生徒たちは、生涯学び続けることが人生を豊かにすることや、周りの人をも幸せにできるという事を学ぶことができました。



今年度のまとめ

上記の地域交流会や「雅楽教室」など、地域の方々に来校いただき、地域の方々の力によって充実した取組となりました。地域の方々とふれあう中で、地域社会の一員としての自覚も高まってきました。

また、本校は今年度校舎の新築をしていただきました。地域の方々には、校舎の引越作業や50周年記念と共に開催した新校舎竣工式典にたくさんのご参加とご協力を頂きました。

来年度に向けて

今年度より「職場体験学習」を実施することができ、生徒が校外に出向く活動は、地域のお年寄り宅を訪問する「おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋」とともに、地域で活動することができました。地域に出向き、地域の中で活動することで、地域の一員としての自覚がより高まります。来年度は、通学路の点検・清掃活動や防災についての取組など、生徒たちが地域から守られる存在から、地域を担う存在へと成長できるよう取り組んでいきたいと思っています。

テーマ

ふれあい、輝く並松っ子

目標

地域とのふれあいを通して、並松小学校の子どもたちの
健やかな成長をめざし、知・徳・体のさらなる向上に取り組む

今年度の取組紹介

○地域との交流（学習支援活動を中心として）

地域の伝統食として、今も地域の神社にお供えされている笹と萱で包んだちまきを、本年度も地域のボランティアの方に6年生と保護者を対象に指導していただきました。ちまきは、子どもが元気に育ったお祝いやこれからも元気に育ちますようにとの願いが込められ、つくたての餅だんごを地域に自生する笹と、雌萱で包み、藺草で巻いて作られます。自然豊かな地域に住んでいながら萱や藺草を知らなかった子どもも多く、伝統的な食文化にふれ、先人の知恵やちまきに込められた願いを知ることができました。



本年度も「ふるさと学習」を行いました。ふるさとを知り、探索し、愛着を持たせる、ふるさとに誇りを持たせる取組を行いました。都祁山口神社・御社尾の神石・観音寺を巡り、地域の方々にお話をして頂きました。今まで何気なく見ていたものが、歴史を知ることによっていつもと違って見え、また、普段入れないところまで案内して頂き貴重な体験をしました。この活動を通して、地域・ふるさと

の方に愛され、慈しまれて育った子ども達は、ふるさとの良さを体感し、ふるさとを受け継ぐ担い手になってくれるだろうと考えます。

今年度のまとめ

年間計画に基づき、地域の方々の指導や支援を得た様々な活動に積極的に取り組みました。これらの学習支援活動・登下校の見守り活動・環境整備活動が定着し、広がりを見せています。職員の意欲的な指導、保護者並びに地域の方々の心温かい支援に支えられ、教科・領域の学習にとどまらないさまざまな教育活動を実践できました。これらのことが、子どもたちに故郷を愛する心を育み、良き社会人として自立できる基礎を築いていくと考えます。

来年度に向けて

学校自己評価のために実施した児童・保護者のアンケートにおいても、「地域の方々に教えていただいた勉強は楽しかった。」とのよい評価が得られています。本校では、地域で子どもたちを「叱って下さい。」「仕込んで下さい。」「育てて下さい。」とお願いしています。今後も、地域の多くの方々の力を借りながら、子どもたちが人と人との関わりを大切にして、たくましく生き抜いていく力を培っていきたいと思っています。

今後、情報発信・情報交換、子どもたちに継続的に関わっていただける人材の確保、学校や地域の担当者が代わっても引き続き支援が得られるような組織の更なる強化を考えていきたいです。

テーマ

瞳きらきら 心うるおう都祁の子の育成

目標

地域力を生かし、信頼と活力ある学校で、感動体験・思いやりの心・信頼の心を育てる。瞳を輝かせ、何事にも主体的に活動する子どもを育成する。

今年度の取組紹介

○ 米作り・野菜作り栽培体験学習

自然や地域とのかかわりを深めるために、各学年で栽培体験学習を実施しました。米作り体験、土づくり、水菜や白菜・サツマイモの栽培、ケナフの栽培から「はがき・炭づくり」など、地域の農業について体験することができました。体験学習の際には、ご来校頂いた地域の方々と直に話すことによるコミュニケーション力の高まりがありました。また、観察したことや経験したことを絵や作文にまとめたり、お礼の手紙を書いて渡したりしました。自分の思いや考えを文章に書くことを通して、表現力を養うことができました。



○ 郷土料理（地域にあった産業から）

郷土の産物を生かした料理体験で、昔隆盛をしていた産業「高野豆腐作り」を再現しました。できた高野豆腐を料理して試食しました。当時の豆腐作りから、地域の一大産業としての広がりや大がかりな運搬（索道）等についても触れダイナミックな学習ができました。



今年度のまとめ

学校支援コーディネーターと学校が事前の打ち合わせを行うことで、それぞれの活動がスムーズに実施できました。地域の方々が熱心に協力していただき、子どもたちとの交流や触れ合いを深めることができました。また、それぞれの活動後に、お礼の手紙を書くことで、子どもたちの地域の方々への感謝の気持ちを伝えることができました。地域の方から「この手紙は、宝物や」の言葉やお返しの手紙をいただき、子どもたちの活動意欲と共に地域の方へパワーをもらって頂く双方向の交流ができました。活動を通して、地域を誇りにする心、主体的に考え表現する子どもの育成に努めることができました。

来年度に向けて

次年度は、教科学習や学校行事との関連をより綿密に図りながら、さらに効果的な活動を取り入れていきたいです。郷土料理の体験の中でも、食材作りから取り組む高野豆腐作りは作る体験だけでなく、故郷「都祁」の昔の地域産業のパワーに触れて更に誇りをもてるきっかけとしていきたいです。

テーマ **育てよう吐山っ子 はきはき やさしく たくましく**

目標 地域の教育力を生かした活動を通して、地域と共にあり笑顔あふれる楽しい学校づくりに取り組む

今年度の取組紹介

『スポ・コミュ
フェスタ in はやま』



9月20日（土）午前中に小学校運動会、午後に地域主催の「親睦のつどい」を開催しました。徒競走、リレー、全校ダンスに綱引きと精一杯取組んだ後、地域の皆様と一緒に飴食い競走や玉入れをしました。心づくしのたこ焼きや焼きそば、流しそうめんも嬉しい思い出になりました。

『創立140周年記念
式典・講演会・座談会』



12月6日（土）本校卒業生の文部科学省企画官出口寿久氏に、「みんなは、吐山の宝だ！」と講演をしていただきました。その後、フリーアナウンサー都築由美氏の司会で、出口氏を交えた卒業生の皆様による座談会が開かれました。年代ごとに小学校の思い出が語られる中、児童も前に出て話し合いに参加させてもらいました。ご支援いただいた地域の方々とご臨席下さった来賓及び恩師の皆様方のおかげをもちまして、心温まる式典・講演会・座談会ができました。

今年度のまとめ

恒例の整美作業や運動会、講演会を、今年は、地域の方々や保護者、児童や学校職員を巻き込んだ参加型の創立140周年記念事業として取り組みました。どの事業にも地域の方々が多く参加してくださいました。地域の皆様の大きなご支援をいただき、地域と学校が一層近づきました。

来年度に向けて

これからも、地域で決める学校予算事業のねらいに即し、地域の支援や協力を得て、地域と学校が連携・協働した事業を推進していきます。

テーマ

学び・ふれあい六郷の里

目標

豊かな自然を生かした活動や、地域の人々との交流を通して、ふるさとを愛する豊かな心と強い体を育み、人と人とのふれ合いを大切にする子どもを育む。

今年度の取組紹介

○ 米作り体験教室

本年度も地域の農家の方々の協力により、5年生において米作り体験を実施しました。学校のすぐそばの田んぼをお借りして、代かき、田植え稲刈り、脱穀までの作業を体験することができました。今回も田んぼに張り縄をして、きれいに苗植えができました。夏場の水の管理や雑草とりなどががんばったかいがあったようで、104kgのお米を収穫することができました。収穫したお米は、家庭科の実習で炊いて味わったり、11月の六小まつりの際に、「六郷米」として、保護者や地域の方に販売したりしました。



この活動を通して、生産する苦労や喜び、勤労の大切さ、地域の方々とのふれあいの大切さを学ぶことができました。

○ふれあい音楽交流会（六小まつり）

六小まつりでは、2学期から練習を積んできた合唱や合奏を保護者をはじめ、地域の方々にも聞いていただくことができました。その際、6年生が室町文化体験として行った生け花の作品も会場に飾り、交流会に花を添えることができました。音楽発表後、一条高校の吹奏楽部のすばらしい演奏をきかせていただき、実りのある六小まつりになりました。



今年度のまとめ

米作りや野菜作りなどの自然・勤労体験を通して、子どもたちは、自然の恵みや豊かさに気づき、生産する喜びや勤労の大切さも学ぶことができました。自分たちが育てたものを食したときの喜びは大きいものがありました。六小まつりの音楽発表会では、保護者や地域の方々にきていただき、子どもも大人もいっしょに歌い、一体となる音楽会を開くことができました。地域の学習や学校の環境整備においても地域の方々の協力のもと、ともに活動することで人とふれあうことの大切さや、周りの人たちに対して感謝する心を育むことができました。

来年度に向けて

地域の産業や文化、歴史に目を向けた学習をより一層充実したものにするために、コーディネーターとの連携を密にして、これらに精通した地域の人材の確保や掘り起こしをしていかなければなりません。地域の方々とのふれあいや体験活動を通して、さらに地域を愛する心を育んでいきたいと思います。